

福島県教育センター

第1節 概要

教育センターは、本県学校教育の向上発展に寄与するため教育関係職員の研修、教育に関する専門的・技術的事項の調査研究、情報処理教育、教育相談、教育図書・資料に関する事業を推進してきた。

これらの事業概要は、次のとおりである。

1 研修事業

教育センターは、教育関係職員の専門的職能と資質の向上を図るために、第三次福島県長期総合教育計画に基づく研修計画のうち、基本研修（対象：初任者・教職5年・10年経験者）、専門研修Ⅱ（内容：各教科、教育工学、道徳、特別活動、生徒指導、教育相談、情報処理教育）と専門研修Ⅲ（内容：学校経営、教育研究法）についての研修を実施した。

本年度実施した研修講座は、次のとおりである。

○講座数	45講座
○講座開設回数	83回
○講座研修者数	2,864人
○講座開設期間	平成元年6月5日～平成2年2月28日

2 研究事業

教育センターに課せられた研究機関としての役割と使命を達成するため、広く全国的視野に立って教育の動向を見定め、本県が直面している教育上の課題や学校における教育実践上の諸問題とに関連する研究主題を設定し、理論と実践の両面から専門的に研究を進めた。

研究課題によって、部単位のプロジェクトチームによる共同研究と各所員による個人研究に分けられ、これらの研究成果は、各研修講座の内容と整合されて講座に反映された。また、共同研究、所員個人研究の成果は、研究紀要に、上記研究と研修者（現場教師）個人研究は所報、研究資料として刊行した外、平成2年2月20日、福島市市民会館において研究発表大会を開催した。

共同研究の研究主題は、次のとおりである。

- ① 学校の経営過程における現職教育のあり方に関する研究
- ② 基礎・基本の定着と個性の伸長に関する研究
- ③ 情報活用能力の育成に関する研究
- ④ 事例を通じた教育相談の進め方に関する研究

3 教育相談事業

幼児・児童生徒の教育上の諸問題について、学校または、保護者及び本人からの教育相談に応じ、その解決のために、カウンセリング等による指導援助を進めた。

年間の来所相談の件数は、241件で、延べ人数は、1,191人で、電話相談の回数は、992回であった。

4 教育図書・資料事業

県内教職員の教育実践活動に役立つ教育図書・資料を提供するため、教育の専門図書・教育資料の収集・整理を行い、コンピュータを利用して検索の迅速化を図り、教育図書・資料の提供を容易にした。収集した教育図書・資料は所報で紹介し、教育資料の件名目録を作成した。

5 情報処理教育

汎用電子計算機組織及びパソコンLANシステムを使用して、コンピュータ言語によるプログラミング、CAI教材作成、表計算ソフトの活用、図形処理の研修を実施した。

年間を通して、高等学校生徒に、プログラミング、CAD、数値制御工作機械、自動製図機の共同実習を行った。

本教育センターの情報処理教育施設を利用した教職員の延べ人数は3,318人で、高等学校生徒は3,770人であった。

第2節 教職員研修

教育センターでは、新体系における教職員現職教育計画に基づく基本研修として本年度から、「小学校初任者研修、中学校・高等学校新採用教員研修及び小・中・高等学校の経験者研修Ⅰ・Ⅱ」を、専門研修としては「専門研修Ⅱ・Ⅲ」を次のとおり実施した。

1 新体系で実施した研修講座

- (1) 教育センターにおける小学校初任者研修、中学校・高等学校新採用教員研修は、主に教科の専門性を中心とした内容の宿泊研修を小・中学校については2泊3日、高等学校については2泊3日を2回実施した。
- (2) 経験者研修Ⅰについては、教職経験5年の教職員に対して、経験者研修Ⅱについては教職経験10年の教職員に対して主に教科の専門性を中心とし、それぞれの教職経験年数に応じた研修内容で実施した。
- (3) 専門研修Ⅱ・Ⅲについては、情報処理教育を重視する時代の要請等を取引りした内容を含め、専門研修としてⅡ・Ⅲの位置を明確にし、精選した内容で実施した。

2 研修講座

(1) 平成元年度研修講座数・研修者数

講座区分	基本研修			専門研修		計
	初任者研修 新採用 教員研修	経験者 研修Ⅰ	経験者 研修Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	
講座数	3	3	3	33	3	45
研修者数	931	546	407	883	97	2,864
合計		1,884		883	97	2,864